

平成29年8月30日

まちづくり委員会資料

等々力硬式野球場について

建設緑政局

等々力硬式野球場改築工事について

1 経過

等々力硬式野球場改築工事については、平成28年6月に工事着手したところ、以下の要因により現場作業を一時中断し、現場作業の再開に向けて、対策工事の検討に必要な調査を実施。

2 要因

①廃棄物混じり土

現場から廃棄物混じり土(コンクリートガラ・木くず・混合廃棄物・スレート材など)が出現し、建設発生土をそのまま処分場へ搬出ができない状況のため、廃棄物の分布や土壌への影響の調査を実施。

②地盤の軟弱部分

地盤に軟弱部分があり、場所や状況によっては重機も入れない状態のため、土質・地層構成の調査を実施。

③杭支持層の想定以上の深さと使用されていない水路

簡易杭支持層調査により、設計時に調査が出来なかった箇所杭支持層が想定以上に深いことが確認された。また一部杭支持層が不均等であることが確認された範囲において詳細な杭支持層調査を実施。

現場着手後の試掘調査において既存図面で確認できなかった水路が確認された。

3 調査

①廃棄物混じり土(廃棄物や土壌の調査結果) 《2頁参照》

②地盤の軟弱部分(土質・地層構成の調査結果)

既存調査では、埋土層が2.0m~4.5mの厚さであったが、今回調査にて埋土層が1.5m~6.0mと深く、地点によってばらつきがあることが判明した。

③杭支持層の想定以上の深さと使用されていない水路

(杭支持層調査結果)

杭支持層調査により、場所によって杭支持層が既存調査に比べ1m~2m深いことが判明した。

4 対策

①廃棄物混じり土

⇒調査結果を踏まえた対策工事の検討を行い、適切に対策を行う。

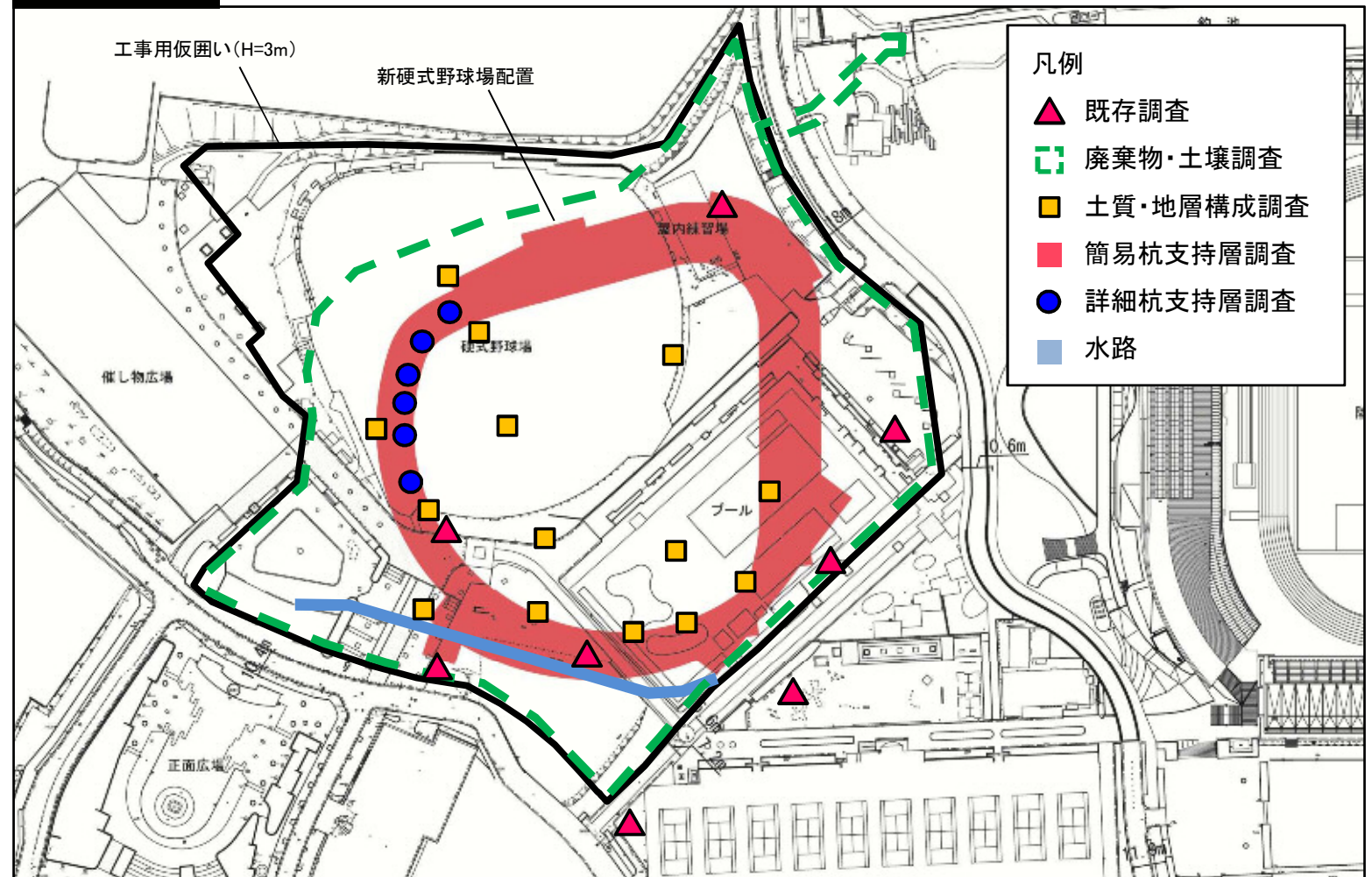
②地盤の軟弱部分

⇒施工および沈下等長期的な観点から必要な範囲で地盤改良を行う。

③杭支持層の想定以上の深さと使用されていない水路

⇒適切な杭長にて施工を行う。また影響する水路は解体を行う。

調査位置図



今後のスケジュール

	平成28年												平成29年												平成30年	平成31年	平成32年
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12								
当初工程	平成28年6月21日～平成30年9月28日																										
①廃棄物	試掘調査		→ 廃棄物・土壌調査										→ 対策検討										→ 対策工事		→ 本体工事		
②地盤	概略検討		→ 地層調査										→ 対策検討										→ 対策工事		→ 本体工事		
③杭支持層	簡易杭支持層調査		→ 詳細杭支持層調査										→ 対策検討										→ 水路解体工事・杭工事		→ 本体工事		

廃棄物・土壌調査結果

《調査概要》

廃棄物調査: 硬式野球場改築工事の施工範囲において試掘調査を実施。

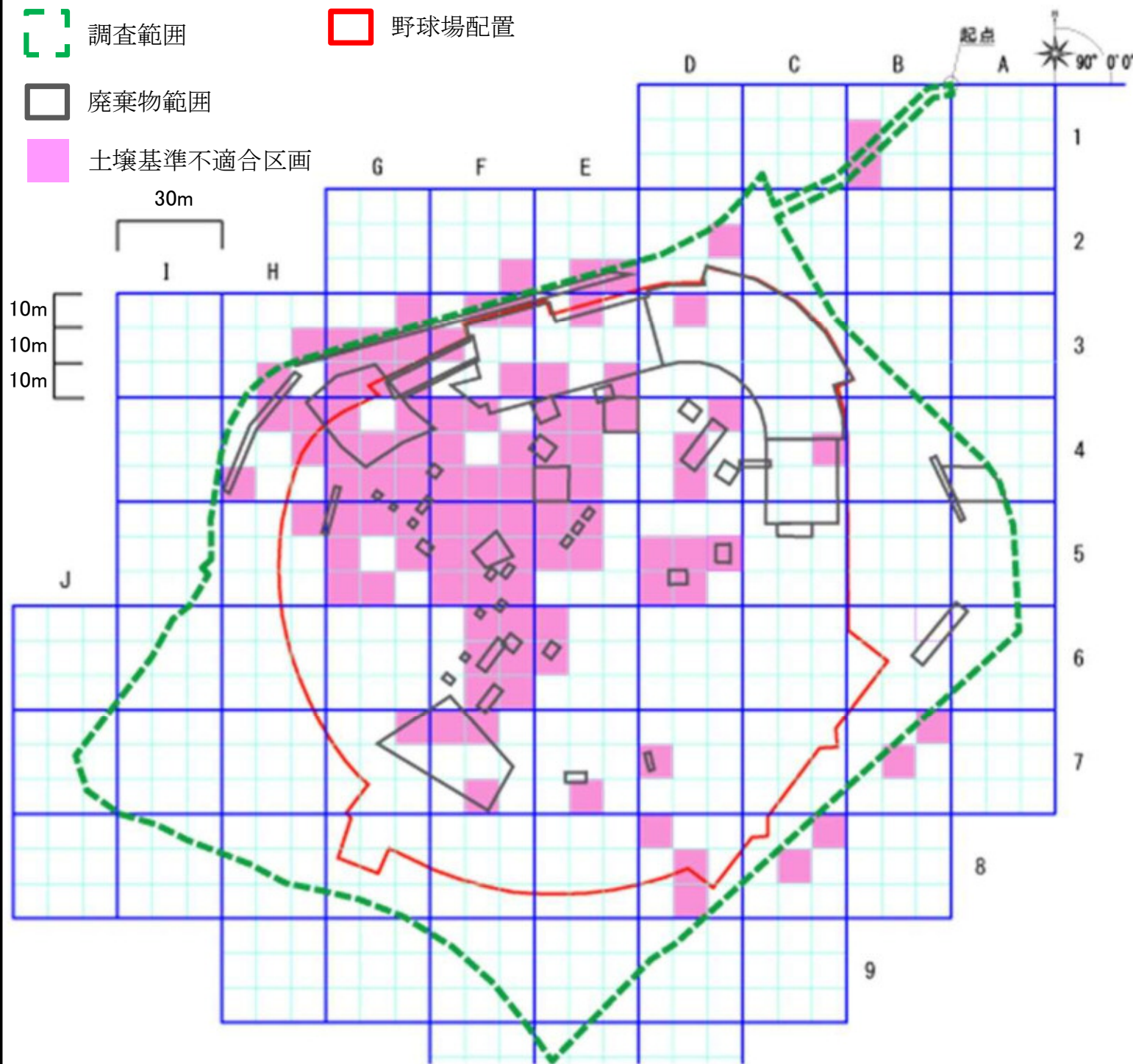
試掘を行い、廃棄物の分布状況を調査するもの。

(基準) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

土壌調査: 埋土層にある廃棄物等による土壌への影響の調査を実施。

土壌から検体を採取し、土壌の中の特定の物質の濃度を調査するもの。

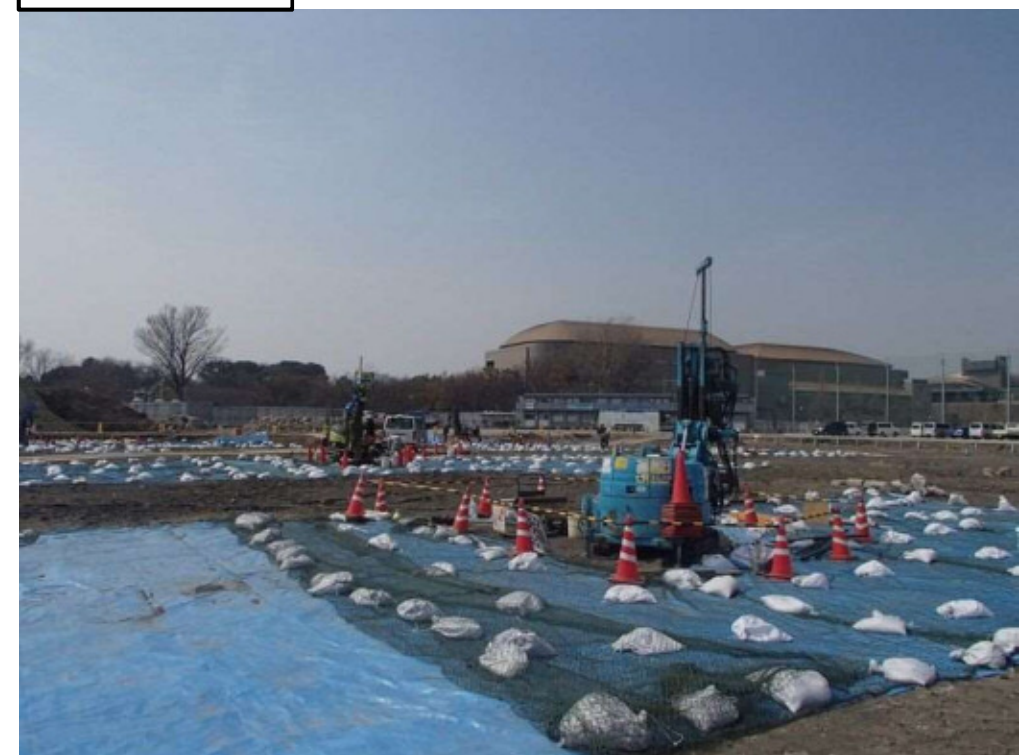
(基準) 土壌汚染対策法



検出された特定有害物質について

基準不適合特定有害物質	基準不適合区画数	最大濃度	基準濃度	最大深度
六価クロム(溶出)	2	5.6mg/L	0.05mg/L以下	3.0m
砒素(溶出)	72	0.088mg/L	0.01mg/L以下	7.0m
セレン(溶出)	4	0.056mg/L	0.01mg/L以下	6.0m
ふっ素(溶出)	30	3.7mg/L	0.8mg/L以下	6.0m
ほう素(溶出)	8	3.5mg/L	1mg/L以下	9.0m
鉛(含有)	4	770mg/kg	150mg/kg以下	2.0m
基準不適合面積	11,151.6㎡			

調査状況写真



平成29年3月30日調査状況